

本時のねらい

3 人称単数現在形の使い方と疑問文の作り方を理解し、疑問文を作ることができる。
また、それに答えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

反復作業に苦手意識を持っているため、ゲーム性のある教材を活用し、興味・関心を持たせる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・PowerPoint
- ・Kahoot!
- ・ミライシード (オクリンク)
- ・Google フォーム

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の復習を行う。 カードを使って動詞の確認をする。 一般動詞(3 人称単数現在形)の肯定文、s のつけ方の練習問題を「Kahoot!」で行う。 【写真 1】 ○本時のめあての確認を行う。 めあて「3 人称単数現在形の疑問文・答え方を知ろう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で使ったワークの問題を再度活用し、「Kahoot!」を用いてクイズ形式で出題することで、興味・関心を持たせる。 ○「Kahoot!」とは、無償で使えるクイズアプリで、4 択問題や○×問題などを、時間制限つきで回答することができる。
展開 (30 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Power Point を使用して、疑問文の作り方を確認する。 ○オクリンクを使用して、肯定文を疑問文になるように自ら英単語カードを並べかえる。 ○ワークシートを使って簡単に練習する。 <p style="text-align: right;">【写真 2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心をもたせるために、Power Point にアニメーションなどの工夫を入れる。 ○実際に自分で英文の単語を動かして、疑問文を作成することで視覚的に学習の補助となるようにする。
まとめ (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Google フォームで本時の確認テストを行う。 答え合わせをして、本時の復習を行う <p style="text-align: right;">【写真 3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○確認テストを行い、理解の定着が図れているかを確認する。 間違えた問題はもう一度振り返る。

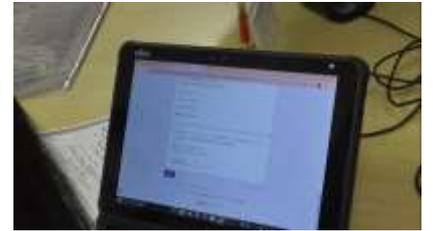
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】Kahoot!を使って、前時の復習を行っている様子



【写真 2】オクリンクを使って、正しい語順に単語を並べ替える様子



【写真 3】Google フォームで、本時の確認テストを行っている様子

児童生徒の反応や変容

- ・「Kahoot!」を使用したことで、クイズ感覚で復習に取り組んでいた。
- ・PowerPoint のスライドの前後での間違い探しを意欲的に取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「Kahoot!」で、クイズ感覚で復習に取り組むことができる。
- ・オクリンクで英文の組み立てを生徒自身で考えて取り組むことができ、単語の順番を意識できていた。
- ・Google フォームで事前に確認テストを作っておくと、採点と振り返りを授業内で生徒とすることができ、今後の指導に生かすことができる。